



DAY 2 帰り道を検証、みんなで考えを共有する



DAY 3 心を動かすプレゼンスキルを学ぶ

DAY 4
8月18日

自分たちで考え、提案⇒そして実現に向けて

「高校生活の理想と現実のギャップ」、また「遊ぶ場所がなく、学校からまっすぐ家に帰るだけのつまらない放課後を変えたい!」そんな生徒たちの思いから、自分たちが考える未来像に向けて2つの提案が出されました。



【提案発表会】

市長、えちごトキめき鉄道株式会社鳥塚社長、押上区長など多くの方の前で提案発表を行いました。

提案 ①

フォト掲示板の設置

押上駅の海側のホームに、インスタントカメラで撮影した写真を貼るスペースを設置する。駅に来た人は、インスタントカメラを使って、自撮りや風景を撮って楽しむ。
➡写真は、たまってきたらアルバムを作る。

電車の待ち時間を楽しく
駅に行く理由をつくる

写真で思い出を残す

提案 ②

糸魚川の家⇒イメージは、高校生のための公民館!

ただお喋りできる場所、放課後にみんなが集まれる場所。生徒主催でイベントが開催できるような場所。

まっすぐ自宅に帰るだけのつまらない時間の解消

携帯が使えずのんびりできない放課後を楽しく!

フォト掲示板の設置

最初は高校生をターゲットに始めるが、話題になれば全国へ広まり、将来的にはフォト掲示板目的で駅へ訪れる観光客が増えることが理想。

糸魚川の家

イベント等を地域の方やいろいろな方と企画ができれば、糸魚川が盛り上がる拠点になる。

この提案を実現できれば、魅力あふれる糸魚川をつくることのできる!!

齋藤 あやめさん

中学校や高校の総合探究の授業で、糸魚川のことを考える機会はたくさんあったが、ここまで形にするということにはなかったので、とても良い機会になったと思う。これを実現できれば良いなと思っているが、これからも引き続き糸魚川について考えていきたい。

原 凜花さん

最初はもっと簡単にできると思っていたが、あまり簡単にいかなかった。6人全員がやりたいことをプレゼンで形にできたので良かったと思う。森さんが動いてくれたからできたが、もっと自分が動けたらよかったなと思った。これから、この6人とたくさんの方とこの提案を実現できたら良いなと思っている。

見辺 桜さん

最初は糸魚川について考えたときにあまり意見がでなくて困っていたが、ひとつ火種がつけば、ぼわっと燃え上がるようにたくさん意見がでた。最初、心の中では「大人って敵だな」と思っていたが、敵ではなく味方や、支援してくれる人もいて、1回目は「行くのがいやだな」と思っていたが、2回目、3回目は自分から行きたいなと思えるような活動だった。自分では、ここで終わらせたくないの、これからも携わっていきたいと思っている。